

臨床研究

「進行頭頸部癌における血小板数および好中球・リンパ球比(Combination of platelet count and neutrophil to lymphocyte ratio)の 予後予測因子としての有用性について」

筑波大学附属病院耳鼻咽喉科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究対象

2002年1月1日から2011年12月31日の期間中に本院で頭頸部癌（喉頭癌・中咽頭癌・下咽頭癌・口腔癌）臨床病期第3期・4期と診断され、根治治療（手術・放射線化学療法）を受けられた患者

② 研究の意義・目的・方法

筑波大学附属病院耳鼻咽喉科では、県下有数の頭頸部癌治療を行っております。一般的に進行頭頸部癌の治療成績は満足に行く結果ではなく、更なる治療成績の向上を目指しています。そうした中、予後を予見する方法として、様々な癌腫において、好中球リンパ球比、血小板数を用いて算出されたCombination of platelet count and Neutrophil to lymphocyte (COP-NLR)の有用性が指摘されています。この数値が予後と関係している可能性が高く、癌の予後を予見する可能性があります。しかし、頭頸部癌においての有用性は未だ知られていません。そこで、治療前に施行された血液検査データを患者さんのカルテから収集し、比較や解析を行うことで、COP-NLRの意義を探索する研究を実施することといたしました。患者さんのカルテより以下のデータを収集させていただきます。（患者背景：性別、年齢、身長、体重、治療開始・終了日、最終受診日、転帰、血液検査の結果：血小板数、好中球数・リンパ球数）

③ 研究機関名・研究者名

筑波大学附属病院耳鼻咽喉科・中山雅博

④ 保有する個人情報に関する利用目的

個人情報、検査結果などの記録、保管は電子カルテ上以外では第三者が直接患者さんを識別できないよう登録番号を用いて行います。今後、研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。

⑤ 保有する個人情報の開示手続

下記連絡先までご連絡ください。

⑥ 保有する個人情報の問い合わせ・苦情等の連絡先

筑波大学附属病院

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：耳鼻咽喉科講師 中山雅博

耳鼻咽喉科医局 電話・FAX：029 - 853 - 3147

(筑波大学附属病院耳鼻咽喉科 平日9：00 - 17：00)